

風にのって、羽ばたく。

[2021年・新春]



心に安らぎのそよ風を。

<http://www.niki-hp.or.jp>



そよ風のてがみ

[特集]

新型コロナ感染症対策

～意識を高めて冬季を乗り越える～

2021年巻頭言

医師紹介

新入職員紹介

部署紹介

かんたんレシピ

[サバのスンドウブチゲ]



● 外来診療のご案内

- 受付時間／8:30～11:30、13:00～16:30
※初めての方は待ち時間解消のため、お電話でご予約ください。
- 診療時間／9:00～12:00、13:00～17:00
※ストレスケア外来・ストレスカウンセリングは、ご予約の上ご来院ください。
- 休 診 日／土・日・祝日
※再来急患の場合は、その限りではありません。

● 診療費のお取扱いについて

[窓口でのお取扱い時間]

- 平 日／9:00～17:00
※土・日・祝日のお取扱いはしておりません。

[口座振替]

ご指定の口座より自動振替えによる、入院費・日用品代のお支払いができるサービスを行っております。定期的に来院するのが大変な方、遠方からお越しの方等、大変便利なサービスとなっておりますので、ぜひご利用ください。

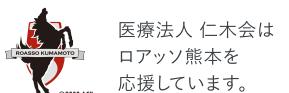
[クレジット・クイックペイ]

入院費・外来診察料・カウンセリング料のお支払いが可能です。
一括払いのみとなります。分割払い・リボ払いはお取扱いしておりません。



基本理念

医療法人仁木会は、患者様の心を癒し、社会で安心して生活が出来るように手助けをします。患者様、ご家族、地域の方々に寄り添った、家庭的で心の通った医療とサービスを提供します。



医療法人 仁木会は
ロアツツ熊本を
応援しています。

医療法人 仁木会
ニキ ハーティー ホスピタル
[精神科・神経科・神経内科]
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目6-100
TEL.096-384-3111

医療法人 仁木会
訪問看護ステーション クレイン
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番74号
TEL.096-234-7738
FAX.096-234-7746

医療法人 仁木会
相談支援事業所 アウル
〒862-0920
熊本市東区月出4丁目4番74号
TEL.096-234-7756
FAX.096-234-7746



医師紹介

Doctors introduction

精神保健指定医 | 和田 冬樹

3年前から非常勤で勤務されてもらっています。精神科救急が活発な病院で長年勤務しておりましたので、メンタルヘルス、心的外傷後ストレス障害や解離性障害など患者さんがたくさん居られ新鮮な感じで仕事させてもらっています。トラウマに関する様々な治療技法も少しづつ勉強させてもらいたいと思っています。

趣味は読書と映画鑑賞です。MOMACEやチム医療にも概ね慣れてきましたように思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。



精神保健指定医 | 吉留 かおり

この4月より入職いたしました吉留かおりです。熊本は初めての場所で、あちこち行ってみたい所はあるのですが、あいにくのコロナ渦でそういうわけにもいかず、最近は、もっぱら万歩計を片手に、美味しい物を探して近所を散歩するのが楽しみになっています。

患者様のお役に立てるよう、皆様と一緒に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



精神科医 | 仁木 啓斗

理事長の次男になります。小さい頃から父の働く姿を見ていたニキハーティーホスピタルで働けることに、とても感慨深さを感じています。

まだまだ未熟なため色々とご迷惑をおかけすると思いますが、誠心誠意働かせてもらうのでよろしくお願ひします！



二〇二〇年は、熊本地震の復興が少しずつ進み、災害公営住宅の完成や、阿蘇に通じる新たなトンネルが開通し、未来に向けてやつと動き出そうとしている中、人吉球磨豪雨災害を受け、熊本はまた大きな試練を背負った。加えて新型コロナウイルス問題は、復興を支援する人達にとって大きな壁になっている。新型コロナウイルス感染拡大は、CBRNE災害並みに世界を襲い、人の自由は奪われ、絆は分断され、我々の生活様式の変化は、人の孤立化を深め、経済にも大きな打撃を与えている。世界中の人々に勇気や元気をもたらす、平和の祭典であるオリンピックも吹き飛んでしまった。

マザー・テレサは、「人間のほほえみ、人間のふれあいを忘れた人がいます。これはとても大きな貧困です」と述べている。新型コロナにより、マスクは必須のアイテムになり、ソーシャルディスタンスを保ち、物理的な接触もままならなくなつた。子どもの愛着欲求を満たす

こと、それは愛の表現であり、その人のすばらしい贈り物となるのです」と述べる。周りの人々に、マスクの中から、微笑みかけましょう。そうしてアイコンタクトでお互いを感じ、心の繋がりを意識しましょう。

コロナの中、一人暮らしのお年寄りの受診があつた。コロナで家族に会う機会が減り、寂しさが更に大きくなつたと苦悩を述べられ、私の目を見つめ涙ぐみながら、私に会えて心が落ち着いたと感謝をされた。「世界中の人が、コロナで我慢しているから、私の苦しさなんて、小さな問題ですね。」と笑顔で診察室を後にされた。

優しい言葉は、相手の心を労り、それは自分を大切にするのに繋がる。人は一人では生きていけない、知らないところで、多くの人と関わりがある。それらの絆を意識しよう。頭の上に広がる青い空は、逢えない誰かも同じ空を見て、同じ空気を吸っていますよ。

二〇二一年は、すべての人により良い年でありますように。

THE YEAR 2021

preface

卷頭 言

...

理事長 仁木啓介

機会も減つただろう。心の貧困の影響は、タイムラグを持つて表面化してくる。意欲を失つたり、うつのような状態を示す人。交感神経が活性化しやすい人は、怒り、イライラ、多動気味になり、相手を責めたり、時には何かに没頭して、疲弊する人もいる。また、背側迷走神経が優位になつてしまつた人は、考えられないくなったり、記憶が飛んだり、身体が思うように動かない、しまいにはシャットダウンまで起こしてしまう。

更に、マザー・テレサは、「誰かに微笑みかけること、それは愛の表現であり、その人のすばらしい贈り物となるのです」と述べる。周りの人々に、マスクの中から、微笑みかけましょう。そうしてアイコンタクトでお互いを感じ、心の繋がりを意識しましょう。





サバのスンドウブチゲ

材料(4人分)	鯖缶(水煮) 1缶	白ごま 適量
	キムチ 150g	味噌 大さじ1.5
	豆腐 1丁	水 4カップ
	キャベツ 4~5枚	A 鶏ガラスープ顆粒... 大さじ1
	もやし 1P	酒 大さじ1
	小ねぎ 2本	

- 作り方**
- ①キャベツはざく切り、小ねぎは小口切りにする。
 - ②鍋にAを入れ、煮立らせ、キャベツ、もやし、キムチを入れて煮る。
 - ③味噌を溶かし入れ、味を調整する。
 - ④サバを適当な大きさに割り入れる。
 - ⑤豆腐を食べやすい大きさに切りながら入れる。
 - ⑥数分煮込んだら、卵を割り入れ、白ごま、小ねぎを散らす。

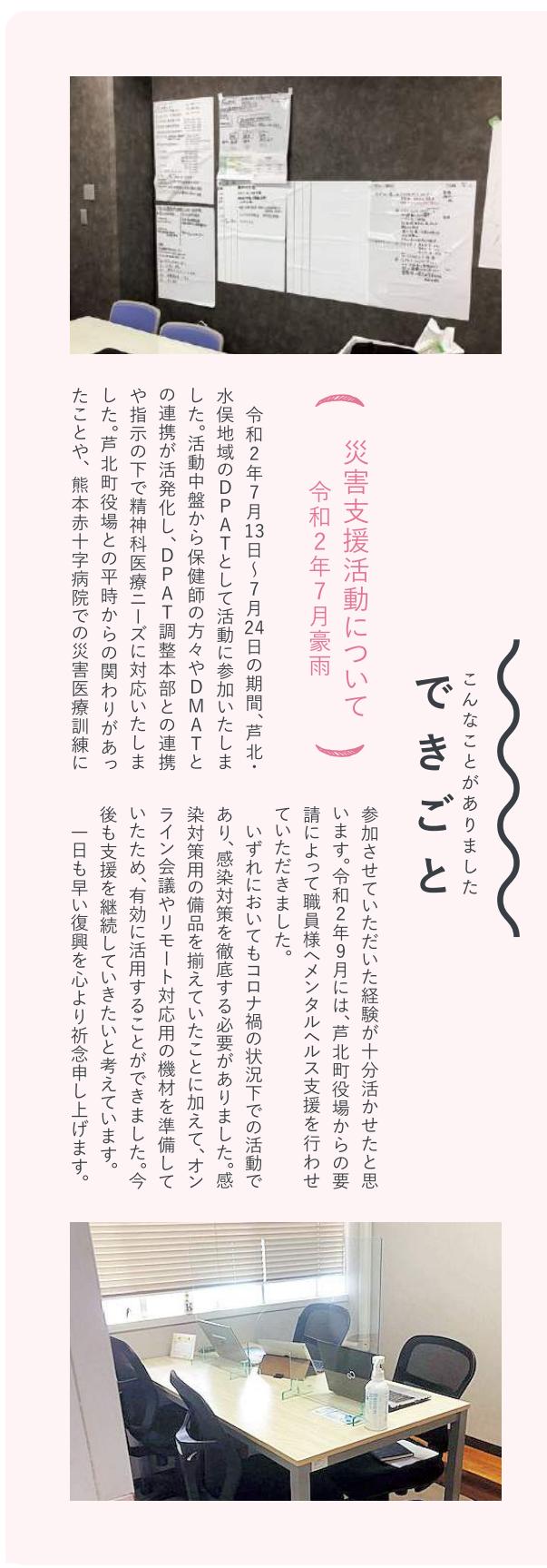
POINT

キムチには乳酸菌が多く含まれ、これらの乳酸菌は胃酸に強く腸内まで届き、整腸作用や便通改善の効果が期待できます。また、辛味成分のカプサイシンはアドレナリンの分泌を促進するため、基礎代謝が活性化し、エネルギー代謝を促進させる効果があります。鯖に含まれる良質な脂であるDHAやEPAは総コレステロールを抑え、善玉コレステロールを増加させたり、中性脂肪を減らす効果があります。

鯖缶は骨ごと食べる事が出来るため、カルシウムやマグネシウムなどの栄養素が摂取でき、骨粗鬆症予防に効果的です。寒くなるこの時期に温まる鍋を試してみてはいかがですか？

編集後記

広報委員会もコロナ禍の影響を受けてしまい、一時期委員会活動を中止せざるをえず、1年ぶりの広報誌発行となりました。すこしずつ新型コロナに関連する不調で受診される方が増えつつあり、ウィズコロナ・アフターコロナに即した精神科医療の提供が必要と考えます。安心・信頼いただけるよう今後も情報発信してまいりたいと思います。



災害支援活動について
令和2年7月豪雨
令和2年7月13日～7月24日の期間、芦北水俣地域のD.P.A.Tとして活動に参加いたしました。活動中盤から保健師の方々やD.M.A.Tとの連携が活発化し、D.P.A.T調整本部との連携の下で精神科医療ニーズに対応いたしました。芦北町役場との平時からの関わりがあることや、熊本赤十字病院での災害医療訓練に

こんなことがありました
できごと

参加させていただいた経験が十分活かせたと思います。令和2年9月には、芦北町役場からの要請によって職員様へメンタルヘルス支援を行わせていただきました。いずれにおいてもコロナ禍の状況下での活動であり、感染対策を徹底する必要がありました。オンライン会議やリモート対応用の機材を準備していただき、有効に活用することができました。今後も支援を継続していくことを考えていました。一日も早い復興を心より祈念申し上げます。



新型コロナ感染の影響

利用者数は想定していたよりもやや下回りました。緊急事態宣言発出から解除までの間とそれ以外の期間での受理事件数に優位に開きがあり、コロナ禍の影響が大きいと分析しています。感染防止のためご挨拶回りを控えたこと、大変恐縮ながら事業所様のご来訪をお断りしていたことが影響し、サービス事業所と所謂“顔を合わせて”的関係構築の不足が否めません。一方で、法人内での効率性向上のためのデータベース開発・VPN等システム運用が、結果として感染対策と業務継続の両立に寄与しました。

今後の展望

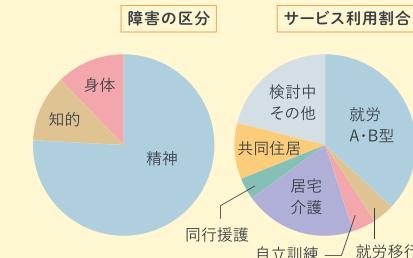
地域移行・地域定着支援

1年間で2件の実績を作ることができました。今後も医師・看護師・他スタッフと連携して推進していきたいと思います。

一般・特定相談(計画相談)



特定相談(計画相談)



「精神障害」の方々の利用相談が最多でした。
「知的障害」については支援学校からのご相談が多く、「身体障害」については医療機関からの問い合わせが多い状況でした。

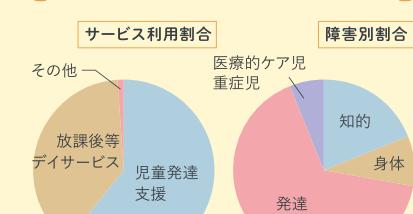
障害児相談

障害児相談

サービス利用の一プロセスに埋没してしまっているケースが少なくありません。特にニーズが増加している「医療的ケア児」「重症児」については、より手厚い支援や配慮が必要ですが、児童への支援の経験の浅さ、ネットワーク構築・参加が不十分と猛省しています。

相談支援専門員の研鑽と体制強化にあわせて、保健師・サービス提供事業所・医療機関・小児訪問看護を行つ訪問看護ステーション等と積極的に連携し、お役に立てるよう微力を尽くしたいと思います。

目下、「早期支援」「就園・就学支援」がテーマです。多くの方と関わり、ご指導を仰ぎたいと考えています。



「発達の遅れ・発達障害」の方の相談が最多で、9割以上がお母様からの相談でした。6割の方が「児童発達支援」「就園・就学支援」利用希望です。利用開始の年齢は3歳が最も多く、3歳児健診で発達検査や療育を受けるよう勧められるケースが多い状況です。

1年を経て、多くの相談をいただくようになりましたが、障害者総合支援法のサービス利用では課題解決に至らないケース・必要なケースが徐々に増えています。法人全体を資源として活用し、手厚い支援と効率的運営の両立を図ります。

ニューノーマルに即した相談支援・サービス利用支援を模索しています。オンライン会議システムをフルに活用し、SNS等を通じて支援を必要とする方へ直接的な情報発信を行うなど、安全安心な相談支援体制を作り上げたいと思います。より多くのニーズに効率的に、しっかりと対応できるよう、新たな事業展開を模索しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

まとめ

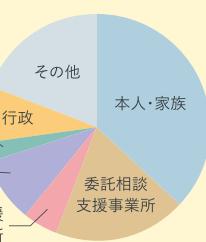
実績と今後の展望

相談支援事業所アウルを開設して1年が過ぎました。本誌を通して情報公開し、これまでの経験からみえた課題、今後の方針や展望についてふれます。関係される方にご理解いただき、連携強化の一助となれば幸いです。

相談支援事業所
アウル

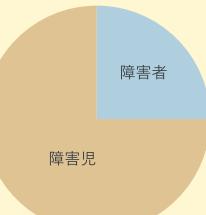
地域連携部長／管理者
片山淳一

相談の受付状況



当事業所への相談は、「本人・家族」からが最も多く、熊本市のホームページや各区役所から提示された一覧表を見て連絡した方がほとんどでした。一方で7割近くは「他機関からの紹介」です。「障害児相談」のニーズが多く、支援開始から早期に保健師の方々との連携体制を構築したいと考えています。

障害者・障害児の割合



「障害児相談」が4分の3を占めます。ほとんどが「発達の遅れ」による児童発達支援の利用希望者であり、約7割が3歳児です。11月以降、「医療的ケア児」「重症児」の相談支援が増えています。